

# ネオクラシックコンサート

岐阜県交響楽団演奏会

## 第17回



指揮とお話  
田中陽治

音楽とお話でつづる  
午後のひととき



ギター  
川瀬喬久

「展覧会の絵」より  
「アラnfes協奏曲」  
「禁じられた遊び」  
「ハンガリー舞曲」第5番 etc.

指揮者コーナー

※曲目は変更する場合があります。



管弦楽  
岐阜県交響楽団

### 2016年7月31日[日]

14:00開演(13:20開場)

### 瑞穂市総合センターサンシャインホール

●チケット料金

一般…1,000円 中学生以下…500円

●チケット取扱

瑞穂市総合センター事務局

瑞穂市文化協会事務局(月～金10:00～16:00)

〈チケットぴあ予約専用電話〉

0570-02-9999 (Pコード 296-264)

[URL] <http://pia.jp/t/>

※チケットぴあアプリ、セブンイレブン、サークルKサンクスで、直接お買い求めいただけます。  
※お近くの中日新聞販売店でもお買い求めいただけます。  
5月1日10:00から、販売開始いたします。



【お問い合わせ】

〈洋楽部会〉090-8150-6114(役)

090-8545-0488(河合)

E-mail [mizuho\\_bunkaza@yahoo.co.jp](mailto:mizuho_bunkaza@yahoo.co.jp)

〈瑞穂市生涯学習課〉058-327-2117

主催：瑞穂市

共催：瑞穂市教育委員会・瑞穂市文化協会

主管：瑞穂市文化協会洋楽部会

<http://mizuho-bunkaza.com/>



# 第17回 ネオクラシックコンサート

## 出演者プロフィール



### 指揮とお話 田中 陽治

大学在学中の1976年、岐阜市の交響詩「長良川」初演(作曲者・團伊玖磨氏指揮)にコントラバス奏者として岐阜県交響楽団に加わり、以来今日まで40年間にわたって演奏活動をしている。

また1988年に「ぎふ中部未来博サマーコンサート」の指揮を担当したことをきっかけに指揮法を学び始め、これまでに110回を超える岐響演奏会を指揮している。県内各地で行われる演奏会において、小中学校教員としての豊富な経験を生かした企画、司会進行を担当して好評を博している。

さらに、オーケストラ音楽の魅力を分かりやすく伝えようと「“大きな古時計”の主題による変奏曲」「うたのどうぶつえん」などの管弦楽曲の作曲やさまざまな楽曲の編曲にも取り組んできている。

指揮法を松尾昌美氏(大阪音楽大学名誉教授)、コントラバスを梅原慎平氏(NHK交響楽団団友)、作曲法を兼田敏氏(故人)に師事。中央教育審議会専門委員(芸術)、2012ぎふ清流国体テーマソング選定委員長を歴任。現在、岐阜女子大学教授。



### ギター 川瀬 喬久

岐阜県大垣市出身27歳。名古屋工業大学大学院卒業。東京都在住、建設会社勤務。4歳からピアノを始める。小学1年・4年時、日本クラシック音楽コンクール(ピアノの部)で岐阜県代表に選ばれる。

中学1年からクラシックギターを始める。岐阜ギターアンサンブル・岐阜ギター合奏団に入団。各種のコンサート・コンクール・イベント、ボラティア演奏等に参加。中部・関西ギターコンクール独奏部門(ジュニア部門)銀賞、銅賞を受賞。平成22年、川瀬喬久ギターコンサート(ソロリサイタル)を開催。平成23年、中部・関西ギターコンクール独奏部門(一般の部)で金賞受賞。同年、全日本ギターコンクール独奏部門5位入賞。

ピアノ 和田晴美、ギター 川瀬啓嗣、小山清 諸氏に師事。

### 公益社団法人 岐阜県交響楽団

1953年、岐阜交響楽団として発足。1975年に社団法人として改組。その後長年にわたる活動が認められ、2011年3月「公益社団法人岐阜県交響楽団」となる。多くの企業や個人の皆さまのご支援を得て、社会的にも一層責任ある団体となった。楽団員は110余名で、様々な職業人により構成されているアマチュアオーケストラである。

活動は年3回の自主公演を中心に、各地の学校や地域での演奏活動を行い、岐響ジュニアオーケストラの育成など、地域に根ざした音楽文化の普及と向上、発展に熱意と情熱をもって貢献している。

1998年に専用の練習場が完成。2003年、創立50周年には日本を代表するサントリーホールにて「東京公演」を、2009年、創立55周年にはウィーン楽友協会にて「ウィーン公演」を開催し、大成功をおさめた。また、2013年創立60周年では、マーラー作曲交響曲第2番「復活」を演奏し、力強いメッセージを発信した。

1984年「地域文化功労賞」(文部大臣)、1999年「ふるさと文化賞」(岐阜市)2007年「岐阜新聞大賞」(岐阜新聞社)を受賞。今後はますますレベルアップを図り、郷土の皆さまにいつそう誇りをもつていただけるオーケストラを目指し、努力を続けている。

